

水道水は安全です！

水道水とミネラルウォーターの安全基準の違いは？

近年、ペットボトル入りミネラルウォーターを飲まれるという人が増えています。

「水道水が不安だから、ペットボトル入りミネラルウォーターの方が塩素がなくて体にいいから」という理由で購入されている人が多いようです。

本当にそうでしょうか？



◎水道水はペットボトル入りミネラルウォーターより安全です！



蛇口から出る水は浄水場で作られ、国が定めた安全基準をクリアしたものだけが水道管を通過して各家庭まで届いています。この安全基準は、ヒ素・フッ素・ホウ素・亜鉛・マンガン等など50項目について、それぞれの含有量が一定基準以下でなければならないと定められています。

一方、ペットボトル入りミネラルウォーターの安全基準は、食品衛生法の製造基準18項目と成分規格8項目となっています。

ペットボトル入りミネラルウォーターより厳しい50項目の水質基準をクリアした水道水の方が、より安全だといえます。

笠岡市でも50項目の検査を定期的に行っています。

◎水道水の塩素は無害です！

水道水には、塩素を添加することが義務付けられています。なぜなら浄水場から安全な水をお届けしても、ご家庭の水道管が古くなっていたら安全性を保障できません。塩素は、ご家庭の水道管から蛇口までの雑菌の繁殖などを防ぎ、安全性を高めるためには必要不可欠なものです。ペットボトル入りミネラルウォーターなどはその塩素が含まれていないわけですから、開封後はなるべく早めに飲んでしまわないと雑菌が繁殖して水が傷んでしまうということもあります。



笠岡市では残留塩素の検査は、毎日、市内5か所で行っています。

◎塩素の臭いが気になるときの対処法



体には害のない水道水の塩素ですが、臭いが気になる時もあるかと思えます。塩素は、空気に触れるとすぐに揮発しますので、コップなどに水を汲んで少し置いておくだけでもすぐ塩素は抜けてしまいます。それでも臭いが気になる時は、冷蔵庫に入れて冷やしたり、沸騰させたりしてみてください。

昔、浄水の技術があまり良くなかった時代には、たしかに塩素臭いということがありました。現在は、非常に浄水技術が進んでいる

ため、添加される塩素の量もごく少量ですので臭いがするという事はほとんど無いと思えます。

近年、水源である高梁川表流水の2-MIB(臭気物質)が上昇する傾向にありますが、笠岡市が岡山県西南水道企業団から受け入れている水道水は、臭気物質を取り除く活性炭によって臭いなどを処理し、安全・安心な飲料水にしてお届けしています。

以上のことから、ジュースやお茶のように嗜好品のような感覚でペットボトル入りミネラルウォーターを買うのであれば良いのですが、「水道水が不安だとか、塩素が体に悪いから」という理由は、間違った認識をしていることになります。

水は、私たちが生きていくために必用不可欠なものです。嗜好品として楽しむためのミネラルウォーターを除き、あえて日常的に飲む水を購入しなければ節約にもなりますし、ミネラルウォーターを運搬することでかかる環境負荷も減らすことができます。

これからも安全・安心な水道水を安定的に、みなさまにお届けするように努めてまいりたいと思えます。



なお、水道水の水質検査の結果は、水道課のホームページ「[水質について](#)」をご覧ください。